

第6学年 外国語科 学習構想案

日 時 令和7年1月24日（金）第5校時
 場 所 6年1組教室
 指導者 教諭 豊田 尚美（T1）
 教諭 福田 典佳（T2）
 ALT Mr.Erik Jaimes

1 単元構想

単元名	Unit8「My Future, My Dream」(東京書籍「NEW HORIZON Elementary 6」P82～91)		
単元の目標	(1) 好きな教科や入りたい部活、将来したいことについて聞いたり言ったりすることができる。〔知識及び技能〕 (2) 中学生に自分のことを知ってもらうために、相手に伝わる工夫をしながら好きな教科や入りたい部活、将来したいことについて伝え合うことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自分がしたいことやがんばりたいことについて、友達の意見を参考にしながら相手の反応を意識して伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	○「聞くこと」(イ) 【知識】 What do you want to be?, I want to be … およびその関連語句について理解している。 【技能】 中学校生活でしたいことや将来の夢についてのやり取りを聞いて、概要を捉える技能を身に付けている。	○「聞くこと」(イ) お互いのことをよく知るために、中学校生活や将来の夢などについてのやり取りや短い話を聞いて概要を捉えている。	○「聞くこと」(イ) お互いのことをよく知るために、中学校生活や将来の夢などについてのやり取りや短い話を聞いて概要を捉えようとしている。
	○「話すこと〔やりとり〕」(イ) 【知識】 What do you want to be?, I want to be … およびその関連語句について理解している。 【技能】 中学校生活でしたいことや将来の夢について、関連語句を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	○「話すこと〔やりとり〕」(イ) お互いのことをよく知るために、中学校生活や将来の夢などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	○「話すこと〔やりとり〕」(イ) お互いのことをよく知るために、中学校生活や将来の夢などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
中学校の先生や先輩たちと、中学校生活でしたいことや将来の夢について、必要な語句や表現を使って、工夫しながら伝え合う児童。			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
中学校の先生や先輩たちと、お互いのことをよく知るために、中学校生活でしたいことや将来の夢などを英語で伝え合おう。		中学校生活の内容等を踏まえて、伝えたり尋ねたりする内容や表現を工夫すること。	
指導計画と評価計画（8時間取扱い 本時4／8）			
過程	時間	学 習 活 動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
1	2	○オリエンテーション、単元のゴールの設定をする。 ○中学校生活でしたいことや将来の夢についての表現に親しむ。	「聞くこと」(イ) 【知技】(行動観察)
2	2 2/2 本時	○中学校生活でしたいことや入りたい部活についての言い方に慣れる。 ○中学校生活でしたいことや入りたい部活について、友達と伝え合う。【本時】	「聞くこと」(イ) 【思判表】(行動観察・発言) 「話すこと〔やりとり〕」(イ) 【知技】(行動観察・ワークシート) 【思判表】(行動観察・発言)

3	2	○中学校でしたいことや将来の夢について、もっと自分の思いを工夫して伝える。	「話すこと〔やりとり〕（イ） ★【知技】（行動観察） 中学校生活でしたいことや将来の夢の伝え合い方を理解し、工夫して伝え合っている。 ★【思判表】（行動観察） お互いのことをよく知るために、中学校生活でしたいことや将来の夢について、考えや気持ちの伝え合い方を工夫している。 ★【態】（行動観察） お互いのことをよく知るために、中学校生活や将来の夢などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
4	2	○映像や音声を手がかりにして、英語を使う仕事などについて考え、英語で広がる世界に対する理解を深める。 ○映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。	「聞くこと」（イ） ★【知技】（行動観察・発言） 中学校生活でしたいことや将来の夢のやり取りの言い方を理解している。 ★【思判表】（行動観察・ワークシート） 中学校生活でしたいことや将来の夢についてのやり取りや短い話を聞いて、概要を捉えている。 ★【態】（行動観察） 中学校生活や将来の夢などについてのやり取りや短い話を聞いて概要を捉えようとしている。

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)				
小学校学習指導要領 2内容 [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 [思考力、判断力、表現力等] (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 ア 聞くこと (イ) 日付や時刻、値段などを表す表現など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動。 ウ 話すこと〔やりとり〕 (イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。				
教材・題材の価値				
本単元は、中学校でがんばりたいこと、入りたい部活動、得意なこと、なりたい職業について伝え合う表現を学習することを通して、学習指導要領における領域別目標〔話すこと（やり取り イ）〕「日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようになる。」のに適した単元である。				
本単元における系統				
6年 Unit7 「My Best Memory」		6年 Unit8 「My Future, My Dream」		
児童の実態				
■ 本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況（27人中）				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
スポーツを英語で言うことができる。	6	15	5	1
教科名を英語で言うことができる。	3	20	3	1
職業名を英語で言うことができる。	4	11	11	1

■本単元の学習に関する意識の状況（27人中）

調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
外国語の勉強は好きですか。	9	12	6	0
Unit Goal や Today's Goal を意識して授業に取り組んでいますか。	4	20	3	0
夢や目標、めあてに向かって最後まで一生懸命取り組んでいますか。	5	19	3	0

■考察

（資質・能力に関して）

スポーツ名と教科名は英語で言える児童が多いが、職業名は英語で言える児童は半数程度である。どれも種類が多いため、すべての単語を習得させるのではなく、本人が必要または興味がある単語を選んで練習できるよう工夫する。

（学びに関して）

外国語の勉強が好きと答えた児童は21人いる。また、外国語の学習において、単元のゴールや本時のめあてを意識して授業に取り組んでいる児童は多い。しかし、英語での言い方が分からなかったり、言い方に自信がなかったりして外国語で話すことを苦手としている児童も少なからずおり、個別支援を行いながら、主体的に外国語でコミュニケーションがとれるような手立てをとっている。

3 指導に当たっての留意点（本校の校内研修との関連から）

1 研究主題

自己を見つめ、自ら学びに向かう児童の育成
～児童が主体的にコミュニケーションを図ることができる授業づくりをとおして～

2 研究の仮説

- (1) 児童の実態に合った学習のゴールを設定し、意欲的に取り組むことができる言語活動を設定すれば、伝え合う力が高まり、主体的にコミュニケーションを図ることができるだろう。
- (2) 授業の系統性を明確にし、段階的に伝え合う活動に取り組みせれば、児童の伝え合う力が高まり、主体的にコミュニケーションを図ることができるだろう。

3 研究の具体的な取組

① 授業づくりに関すること

- ・児童の学習意欲を喚起する学習課題の提示
- ・意欲的に取り組むことができる言語活動の設定
- ・振り返りの工夫
- ・ALTの効果的な活用

② 低学年からの系統性に関すること

- ・外国語活動、外国語との系統性を明確にした低学年における外国語学習の充実

③ 日常活動に関すること

- ・以下の外国語や外国の文化に親しむ活動を通して、児童の外国語に対する興味関心を高める。

○「児童の学習意欲を喚起する学習課題の提示」では、中学校の先生や先輩たちからのビデオメッセージを見て「自分のことを知ってもらうために、中学生と英語で会話しよう。」という学習課題を設定し、単元のゴールを教室に掲示して児童と共有することで、学習への意欲を高め、学習の見通しを持たせる。【共有化・焦点化】

○「意欲的に取り組むことができる言語活動の設定」では、目的・場面・状況を明確にし、新しく学習する表現を使って、相手を変えて何度もやり取りをさせることで、伝える内容や英語表現の充実をはかる場面を設定する。その際に、中間評価を適宜行い、既習表現や会話をよりよくするために必要な工夫を全体で共有する。【共有化】また、「話すこと」への苦手意識を軽減するために、児童同士のコミュニケーションの活動に入る前に、タブレット端末を活用して自主的に練習をしたり自分の発音を録音して聞き返したりする機会を確保する。【視覚化】

○「振り返りの工夫」では、前単元までの学びをタブレット端末に残すことで、必要に応じて見直すことができるようにする。【共有化】

○「ALTの効果的な活用」では、Greeting や Chant などネイティブな発音に親しませたり、T2と協力して会話のモデリングをしたりして、積極的な活用を行う。

（人権教育を通じて育てたい資質・能力）

○相手の考えをしっかりと聞いたり、自分の考えを伝えたりすることができる。

4 本時の学習

(1) 目標

中学校生活でしたいことや入りたい部活動について、友達と伝え合うことができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言や反応)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>【Unit Goal】 自分のことを知ってもらうために、中学生と英語で会話しよう</p> <p>1 Warming-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Greeting ・ Let's Sing ・ Small Talk <p>前時で学習したことを、英語で会話する</p> <p>2 Today's Goal</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTとの基本的な挨拶等で授業を開始し、外国語学習への意欲を高めるようにする。 ○本時の活動につながる言い方の練習を行う。 ○Small Talkは、本活動に関連する内容を1分間、ペアで会話する。 ○活動の流れを提示し、確認する。【共有化】
		<p>【Today's Goal】 中学校生活でしたいことや入りたい部活動を、友達と伝え合おう</p>	
展開	30分	<p>3 Activity 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校でがんばりたい教科や入りたい部活などについての言い方を振り返る。 ◇少しずつ言えるようになってきたから、大きな声で言えるようになる。 ・ ペアで伝え合いをする。 ◇相手から質問されて、きちんと答えることができたよ。 ・ 中間評価を行う。 ※代表ペアの伝え合いを見て、良いところを見つける。 ※うまく言えなかったことなど児童の困り感をクラスで解決する。 <p>4 Activity 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間評価をもとに、再度ペアで伝え合いをする。 ・ たくさんの友達とやり取りをする。 ◇「いいね」と言ってもらってうれしいな。 <p>.....</p> <p>【期待される学びの姿】</p> <p>中学校生活でしたいことや入りたい部活動について、既習表現を使って、尋ねたり答えたりしようとしている。</p> <p>.....</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はじめのペアで再度伝え合いをする。 ◇前より上手に言えるようになったよ。 ・ 本時で伝えた英文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ロイロノートを活用して、既習事項を効率的に振り返る。 ○言い方がわからないときは、音声データを活用したりT2やALTに尋ねたりしながら、主体的に活動できるように励ます。 ○伝え合いができていくかどうかのチェックを行い、個別支援の参考にする。【視覚化】 ○上手にやり取りしていたペアをモデルに示し、良いところに気付かせる。【共有化】 ○よい点を共有し、価値づけることで伝え合いの質を向上させる。【共有化】 ○中間評価で出した内容を取り入れて、伝え合いをより良いものにしていく。【焦点化】 ○自由にペアを作り、やりとりを複数回体験できるようにする。 ○必要に応じて、再度デモンストレーションを行う。 <p>【指導に生かす評価】「話すこと(やり取り)」(ウ)</p> <p>【思判表】(行動観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学校で勉強したいことや入りたい部活等について尋ねたり、答えたりして、お互いの考えや気持ちを伝え合っている。 <ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末に録音した英会話を聞かせたり、読み方を書いたカードを見せたりして活動を支援する。 ○英文を書くときは、板書やタブレットを見ながら書き写すようにする。【焦点化】
		<p>【期待するやり取り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ What do you want to study? ・ What club do you want to join? ・ I want to ~. ・ I want to join ~. 	
終末	5分	<p>5 Reflection</p> <p>【まとめと振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇中学校生活でしたいことを友達に伝えることができてよかった。 ◇入りたい部活についての言い方が分かってよかった。 ◇中学生にたくさんのことを伝えられるように、もっと学習をがんばりたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の振り返りをタブレット端末に記入し、発表し合うことで学びを共有する。【共有化】 ○本時の学習でできるようになったことや、もっとこうしたいことなどを中心に書かせる。 ○次時の活動を予告し、意欲を高める。

【板書計画】

単 元 の 学 習 計 画	Sunny、 Friday、 January 24th	
	Today's Goal	Good Communications Point
	中学校生活でしたいことや入りたい部活を、友達と伝え合おう	
	〈がんばりたい勉強〉 What do you want to study? →I want to ~.	Good Communications Point
	〈入りたい部活動〉 What club do you want to join? →I want to join ~.	+α
	Reflection	